平成２８年度　伊那市学校人権同和教育実践計画概要

学校名　　伊那市立新山小学校

テーマ　　一人ひとりの人間の尊さに着目しつつ、人権感覚を自ら磨きあげ、信頼と支え合いが見られる開かれた学級作りをめざす。

	学年	人権課題（※1）	扱う資料等	取組内容（箇条書で簡潔に）
学年ごとの取り組み予定	1	①人権一般	・わたしたちの道徳	・温かい心でともだちに親切にする。
	2	①人権一般	・わたしたちの道徳	・友達の良さを見つけ、相手を思いやる心を養う。
	3	①人権一般	・わたしたちの道徳	・相手を思いやり、互いに理解し合う気持ちを高める
	4	①人権一般	・わたしたちの道徳	・思いやりの気持ちを持ち、相手の立場に立って考える、認めていく。
	5	①人権一般	・わたしたちの道徳	・日々の生活が家族や過去からの多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応える心を養う。
	6	⑥同和問題	・あけぼの	・差別で苦しむ人々の思いを知り、差別のない社会を築こうとする気持ちを育てる。
人権同和教育推進上の悩み			小規模校なので、限られた人間関係の中での学習になる。少人数での授業展開になるため子供同士の多様な意見交換や認め合いが難しい。	

								①講師決定理由・人権課題 ②工夫改善点 ③取組内容・新たな取組等
児童	研修講演会	テーマ/タイトル	聞こえないことへの理解					①聴覚障害の児童が在籍するので、全児童で友だちの障害について理解を深め、自分の今までの言動について振り返る機会とする。
		講師名・所属等	松本ろう学校　山岡美穂先生					
	アンケート等		QUｱﾝｹｰﾄ	実施学年	4.5.6年	実施回数	2回	②QUの結果をもとに職員会などで共通理解の場を設け、全職員で児童理解に努める。
			その他					
	児童会の取組		児童会スローガン「SHINE」をもとに、みんな仲良く楽しい新山小にするために「おはよう玄関」「さよなら玄関」「プレイ・ザ・ゲーム」など仲を深める活動に取り組む。					
保護者	研修講演会	テーマ/タイトル	未定					①新山小中学校時代に元教員として勤めた経験をもとに、当時から受け継がれる伝統、地域の特色を学び、地域を愛する心をより一層高める。
		講師名・所属等	倉田加代子先生					
	家庭への発信・連携		③PTA、学校、育成会、公民館の四者共催で講演会を行い、多くの家庭が参加するよう地域全体で声をかける。					
職員	研修講演会	テーマ/タイトル	障害者差別解決法について					①28年4月1日より施行の「障害者差別解消法」に掲げられている「合理的配慮」について，講話をお聞きして障害者に対する人権意識を高めて職員としての資質向上を図る。
		講師名・所属等	渡辺孝次先生・伊那養護学校					
	校内組織の取組		③人権教育に関する悩みや意見交換する場を(職員会、学年会、連学年会など）設ける。					
○地域組織、他学校、福祉施設との交流・連携 ○地域への発信等			②③新山保育園との交流を年間通じて行う ・手良小学校と一年を通して5年生1名が交流することを通して多様な意見に触れて社会性を函養していく。 ・富県育成会が企画する交流会やハイキングなどに参加　富県小学校との交流 ・１１月に行われる地域公開参観日に地域のお年寄りを招き、地域のお年寄りや地区外 の方とふれあう場を持つ。					

【※１】人権課題について(　下記から選んで記入してください。記入例「　④障害者　」　　)
①人権一般（生命尊重、自尊感情、コミュニケーション能力等）　②女性（DV・ｾｸﾊﾗ含む）男女平等　③子ども（いじめ、こどもの権利等）　④高齢者　⑤障害者　⑥同和問題　⑦アイヌの人々　⑧外国人　９インターネット、携帯電話等による人権侵害　⑩HIV感染者、ハンセン病患者　⑪刑を終えて出所した人　⑫犯罪被害者　⑬北朝鮮当局による拉致被害者問題　⑭性的指向に関わる問題　⑮満州開拓団・中国帰国者　⑯東日本大震災